

「だいちやん農園 GUEST HOUSE」オーナー

しとう かず え
志藤 一枝 さん (61才)

あさひまち
(山形県朝日町)



農家民泊、自家製りんごでスイーツ開発、外国人客おみやげ向けの商品の開発など多岐にわたる活動は、地元の国際交流の要になっています。地域活性化に貢献してきたライフスタイルは称賛に値すると高く評価されました。



■受賞の内容

【農村の文化を世界に発信したいと農家民宿開業】

結婚を機に千葉から山形に嫁ぎ、英語塾主宰を経て町の保育園に勤務。得意の英語を生かし32年間、ホームステイボランティアのホストを務め、全世界の人々との交流から山形県と朝日町の文化を世界へ発信したいと考えていました。また、不登校だった長男と一緒に農業に従事し、土を耕すうちに心も耕され、自分の夢を実現したいと、元気を取り戻しました。これを転機に山形県の「里親」に登録し、不登校やニートで心の闇を抱える青年達を、農業を通してサポートする『農家民宿』を開業しました。

農家民宿に泊まったゲストとの親密な交流は、山形大学の留学生からは、私を日本の母として頼ってくれるようになり、昨年夏に彼女の故郷であるインドでの結婚式に日本の母親として参列しました。その後、このご夫婦は、共に石川県で職に就いたことから、山形で再度、日本式の神前結婚式を山形大学と連携して行いました。

台湾からのリピーターは、農園でのフルーツ狩りや山形の伝統料理体験、朝日町内の文化祭などを毎年楽しみに農泊しています。特に茶道・着付け・習字に関心が強く、地域の日本文化を指導する先生方の知恵袋を生かして、相互の異文化交流が活発化し、町民からも微笑ましく、身近に外国の方がいるだけで町が活性化していくと期待されています。

また、国内ゲストとも農産物の贈答注文販売や農業体験などから交流が深まり、各地を往来しています。ゲストとの食事では、農や食にまつわる会話を楽しんでいただくことにより、食したサクランボやリンゴ、米などを買いたい、送りたいなど注文販売に繋がっています。

このことにより、長期的な関係に発展し、「長野にも先進的な農家民宿があるから参考にしてみたら」と勧められて訪問し、農園や農家民宿の経営の参考にもなっています。

【自家栽培のリンゴスイーツを開発】

6次産業化にも取り組み、自家栽培のりんごを素材にした新しいスイーツを開発し、東京をはじめ、全国主要都市への物産展や駅での試食・販売も実施しています。また、山形市の“かすり屋和菓子店”とコラボしたりんご・麴・チーズクリームの餡を「どら焼き」の中に包み込んだ『麴焼き』は、海外からのゲストの試食を重ねながら、インバウンドへのお土産品として商品化に至り、「日本の宝物グランプリ山形大会」でグランプリを受賞。大福の中に餡を入れた『りんごと麴のマリアージュ』は全国大会でベストライス賞を獲得しました。このりんごスイーツをタイにも販売しようと、商談を進めています。

■受賞者と農山漁村との関わり

【移住】32年

【地域での実践活動】10年

■写真の説明

(写真左) 外国の方々との交流「りんご狩り」

(写真中央) 子供たちの課外授業

(写真右) 山形大学・留学生が日本で神前結婚式

を挙げました

■連絡先

〒990-1302 山形県西村山郡大字玉ノ井丁 202

☎0237-68-2301

<https://www.daichanfarm.com/>